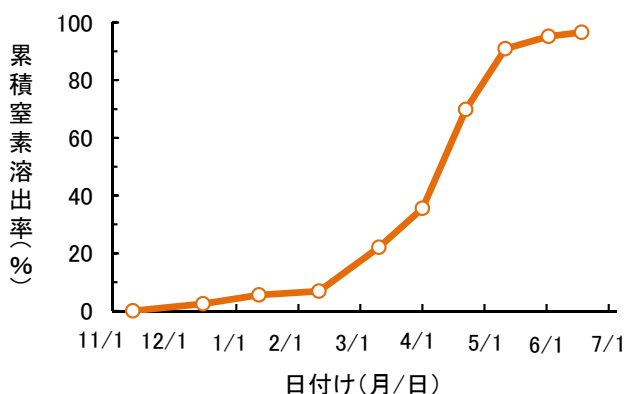


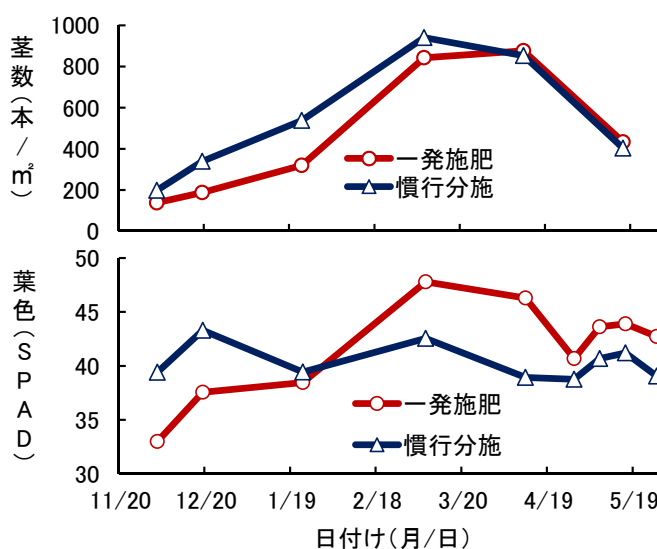


# 小麦「キヌヒメ」の省力で増収効果の高い基肥一発施肥法

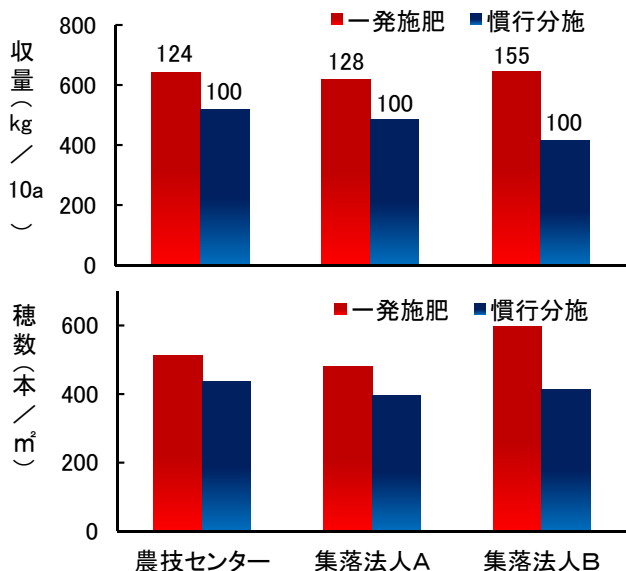
小麦「キヌヒメ」の栽培において、窒素成分で13~16kg/10aの被覆尿素肥料LPコートS30を全量基肥施用することで、慣行分施に比較して3~4回の追肥が不要となり、20%以上増収する技術を開発しました。



・LPコートS30の窒素の溶出は、初め少なく、2月中旬以降急激に多くなり、5月上旬にはわずかになる。



・茎数は初め少なく、4月中旬以降は同程度となる。  
 ・葉色は初め薄く、3月上旬以降は濃く推移する。



・収量は主に穂数の増加によって20%以上多くなる。

場所	施肥法	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	倒伏	検査等級
農技センター	一発施肥	6.15	87	無	1等
	慣行分施	6.14	83	無	1等
集落法人A	一発施肥	6.17	90	無	1等
	慣行分施	6.16	83	無	1等
集落法人B	一発施肥	6.17	85	無	1等
	慣行分施	6.15	77	無	1等

・成熟期は1~2日遅くなる。  
 ・稈長が長くなるが、倒伏の発生はない。  
 ・検査等級の低下はなく、1等である。

- ・窒素施用量は土壌の肥沃度に応じて調節する。
- ・生育の初中期に茎数が少なく葉色が薄くても追肥は行わない。
- ・窒素成分のみ含むLPコートS30とともに、LPコートS30に磷酸肥料と加里肥料を混合したBB肥料も市販されている。